

## はじめに

新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月28日、初めて道内で感染者が確認されて以来、他の地域に先行して感染が拡大し、私たちの暮らしや経済に大きな影響を及ぼしてきました。

世界的にも十分な知見やノウハウがない中、道では、全国に先駆けて独自の緊急事態宣言を発出するなど、道民の皆様への命と健康を守ることを最優先に考え、様々な対策に取り組み、令和5年5月8日の5類感染症への移行の日を迎えました。

こうした中、新型コロナへの対応で得た教訓を活かし、今後、新たな感染症が発生・まん延するような事態においても、道民の皆様が適切な医療を受け、安心して暮らしていくことができるよう、全道一丸となって、柔軟で機動的に対応できる体制を整えていくことが急務となっています。

このため、道では、令和5年6月に北海道感染症対策有識者会議を設置し、新型コロナへの一連の対応について総合的な検証を行い、新たな感染症危機への対応の方向性を整理するとともに、医療機関や関係団体で構成する北海道感染症対策連携協議会等での議論を重ねながら、新たな「北海道感染症予防計画」を策定しました。

この計画では、新たな感染症の発生やまん延なども想定し、感染拡大に応じた医療提供体制の確保や患者の移送体制の構築、自宅療養者への支援などに取り組むほか、病床数や発熱外来機関数などの数値目標を新たに設定するなど、従来の計画を大幅に見直しました。

本計画に基づき、医療機関や関係団体、市町村の皆様と密に連携を図りながら、新たな感染症危機への備えの充実・強化に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、多大なるご尽力をいただきました北海道感染症対策連携協議会、北海道新興・再興感染症等対策専門会議、同専門部会の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

令和6年(2024年)3月

北海道知事 鈴木 直道